

## 【Social Leaders～社会で発揮するリーダーシップ～】

大学名：神戸大学

参加企業様：大阪ガス(株)、(株)クレオ、森永製菓(株)、(株)ワークスアプリケーションズ、(株)ワコール

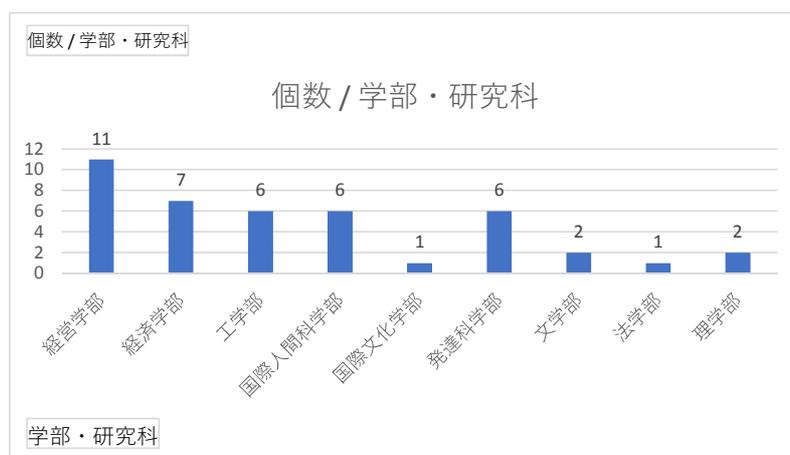
企画・運営：株式会社シンクロン、アイセック神戸大学委員会

開催日時：2017年12月22日（金）17：00～19：15

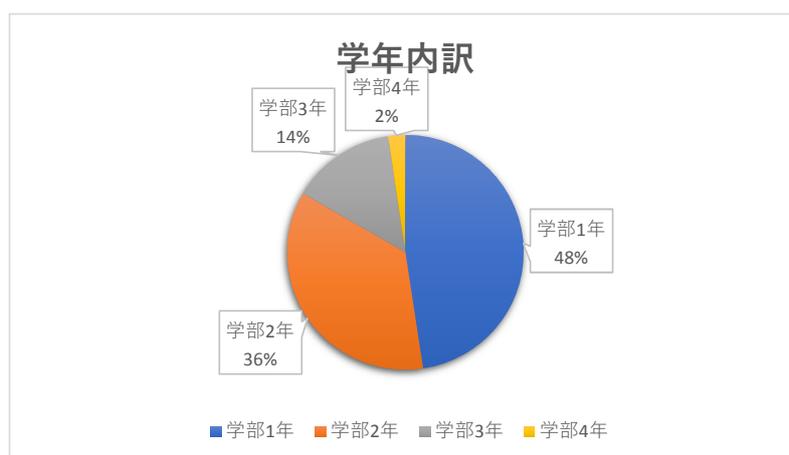
開催場所：神戸大学 学生会館 集会室

総来場数： 50名 （ 回答数：42名 未回答数：8名 ）

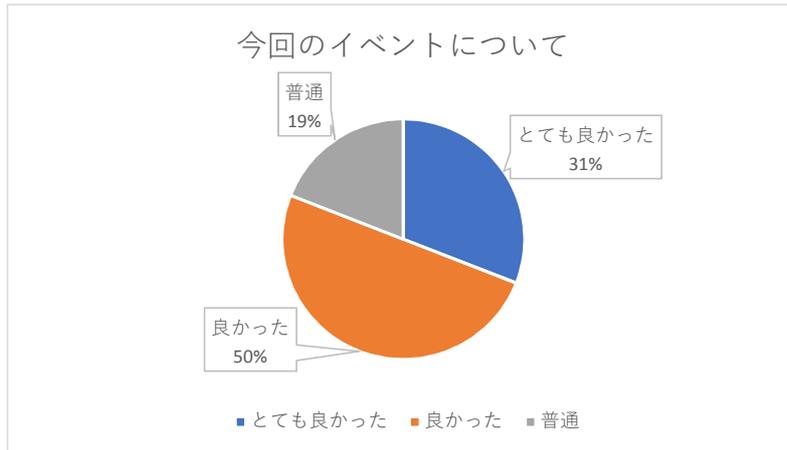
### 学部・研究科の内訳



### 学年の内訳



### Q.今回のイベントについて



## Q.その理由は？

|   |
|---|
| イベント前に書くことを整理していないことや、自分で自覚するほどの顕在的な悩みや、疑問点などなかったため、あまり質問が浮かばなかった。                                    |
| いつも就活のイベントの座談会って周りが福利厚生とか消極的な質問をしたりして熱い系の質問をしにくい空気が邪魔して聞きたいことが聞けないときがあったけど、アイセックのメンバーだと遠慮しないで楽しかったから。 |
| 聞きたいことは質問できたが、新しい気づきや学びはあまり得られなかったから。   |
| 概ねよかったが個人で話せる時間がもっとほしかったです。   |
| 2回目のラウンドテーブルで話を聞きたい人と話せたから。   |
| とてもフランクな雰囲気でお話聞けたから。  |
| プレゼンの時間が短くて逆によかった。眠たくなりにくかったから。(笑)  |
| ワークスアプリケーションズの安東さんと出会えたこと。非常に多くの学びをいただきました。   |
| 就活という文脈を外れて社会人の方とお話することができた。  |
| 会社におけるリーダーシップのあり方をお聞きできたから、経験値ベースでのアドバイスが頂けたからです。   |
| あまり話は聞けなかったが皆が自由に質問できていたように見えた。閉鎖的な環境だけでなく、相対的な活動の意義や問題との比較ができるようになったのではと思うため                         |
| めったと会えないような企業の方にお会いできてよかったです！めっちゃわくわくしました！  |
| かつ、社会で働いてこんな感じなんか！って掴めたような気がします。  |
| 改めて、自分がどのように生きたいか、仕事したいのかを色々な人と触れ合うことにより再確認できたので良かった。しかし、だいたいの話は、表面的な内容に限られてしまった。                     |
| あまり社会人の皆様のリーダー経験がきけなかった   |
| ソーシャル色がもう少しほしかった。   |
| 社会人の方とフランクに話せる機会というのはなかなかない上、自分が求めている機会だったんだなあと感じたから。   |
| 和やかな雰囲気の中でお話することができたからリーダーの概念がさまざまあっておもしろかった  |
| 社会で活躍する人と直に接する機会は普段なく、今回は砕けた雰囲気でも色々な話が聞けたから。  |
| 企業の方々が思うリーダーシップや、社会貢献、採用したい理想像などなど多くのことを聞けたから。  |
| インタラクティブにお話する時間を多く設けてくださってよかったです。   |
| 会社説明の時間が短くて、その会社の推しポイントがあまり伝わらなかったです  |
| 会社の人事としての面だけでなく、その会社で働くその人個人の想いなどを知れるような話も聞きたかったです。   |
| 自分自身が、会社でのリーダーシップについてあまり考えておらず、学びを最大限にできなかったなと感じたから。  |

|  |
|--|
| 貴重なお話を聞いてよかった。また自分の興味や疑問に思うことを質問でき、解消できたのがよかった。                      |
| いろいろな企業様の人事の方とお話することができたから。  |
| 企業の方と直接話すことがあまりなかったのでいい機会になりました。少し企業に興味を持ちました。                       |
| 色々な企業の方の話が聞いて、なおかつ質問もできたので良かったです。                                    |
| リーダーシップという観点から社会人の方と話すことができたから                                       |
| 社会人の方が何を考えているか何人かはわかった。  |
| いろんなことについて考えることができたから  |
| ワークスの方とお話できて、どんなモチベーションなのかわかったから                                     |
| 多くの社会人の方と触れ合い、いろいろなお話を聞いたのはよかったが、コンセプトが曖昧のように感じました。                  |
| 社会に出て働くとは、ということ、形式ばらず話して下さることでとても楽しかったし、働くことに少し楽しみを覚えた。              |
| 自分がかもともと興味のあった業界の参加がなかったからただ、それ以外の意味での学びはあった。                        |
| 目的のミスマッチ   |
| 企業側の視点を少し垣間見ることができたから  |
| 企業の方の生の話が聞けたから   |
| 社会人の方が何かコンセプトに沿って選ばれたわけではなさそうだと感じてしまった。                              |
| 質問する方が少し気を使ってしまった。   |
| 実際に企業様がどのようなことを思い、行動してらっしゃるのか少し知れたから                                 |
| 社会で働くことが自分にとって近いものになった。  |
| 自分に必要なことがヒアリングできた。   |
| 普段聞けない社会人の方の話をたくさん聞けたから。社会でのリーダーとはどういうものか知ったから。                      |
| 一般的な一流企業の社員さんがsocial leadersであるのかということそうではなくて、あまり話を聞くことに意義を感じられなかった。 |
| 社会人の方と、企業説明会やインターンと違う、等身大のぶつかり合いができたから。                              |
| 一度に会えないような企業と会えたから   |

## Q.今回のイベントで気づいたこと、得たことは何ですか？

(リーダーシップ以外のことでも結構です)

|   |
|---|
| 自分はやはり経営面などの話題に関心がないことに気づけたのは良かったかなと思います！   |
| 社会人はやっぱり真実を言うなーと思った。自分を変に凄く見せたらしないところが一流だと思った。  |
| 大学生の間は、自分が本当に心からしたいと思えることを自信を持ってしたらいいと思った。  |
| 存在意義の重要性。どの企業、どの社員の方、またアイセック、そしてどのアイセックメンバーも存在意義を意識する必要があると確信を得た。                                 |
| 企業人の方々の個人レベルの思いを感じることができたこと。企業の人々が組織内部or外部の人間に対してどのようなリーダーシップを求めているのかを少しでも知れたこと。                  |
| 「思っている」という言葉は弱いなということ。「〇〇です。」という強い言葉を使うべき。コミュニケーションにおいて大事なのは、相手の前提を知る理解力。自分の前提を伝え、共通の目的を見つけ出す対話力。 |
| 成長しななってこと。  |
| リーダーシップはリーダー自身にとっても有用であるのが自然。   |
| 理想の働き方が違えばリーダーシップに対するスタンスも異なるなと感じた。   |
| 自己成長のためにも育成の観点でも、思考と行動のバランスを考えるべきだなと感じました。  |
| 成果指標の測り方  |
| 社会人って責任重いなあとか、それよりメーカーさんならメーカー愛だったり家族のためだったり、働くモチベって人それぞれだと改めて感じました！                              |
| Everybody can change the world という言葉が印象に残りました。小説をもっと読みたくなりました。                                    |
| 納得いくまで対話することの必要性  |
| 企業で発揮するリーダーシップにおいては、いかに人を動かせるかが大切。  |
| 自分の問題意識に気づけました。   |
| 理想はどこでも目指せるということ  |

|   |
|---|
| <p>リーダーシップの発揮の仕方はそれぞれで、何も生まれつき決まっているということではなくて、努力や経験次第で身につけられるということ。</p> <p>ただの留学が採用の際に大きなプラスにならないこと。留学でどんなことして、どんな学びを得たかなど、具体的な話ができなければ意味がないこと。</p> <p>イベントを通じてそれぞれの会社の好きなおところと嫌いなおところを大体感じることができました。そして、なぜそれを好きだと思うのか、を考える中で自分がどういう会社に入りたいたいかふんわりとわかりました。</p> <p>前よりも色々な働き方のイメージがついた。</p> <p>大学のうちに出来ることがあるということ。</p> <p>思った以上に専門性や学力は重視されていないこと。</p> <p>結局求めている人材と一緒に仕事をしたいなって思わせる人であり、ビジョンを浸透するためにはビジョンを言い続けることが必要であるということ。</p> <p>社会に出て実際に働くことをイメージすることができた。</p> <p>社会を変えようとしている人が実際にいて勇気が出た</p> <p>社会人の方の多くは、変化 進化 人生での崇高な目標 生き方を問うこと みたいなことはしないらしいということ。</p> <p>組織の中でどんなリーダーシップをもって自分が活動していくのかをきちんと考えないといけないと感じました</p> <p>やっぱり社会を変えているという実感をモチベーションに自分は働きたいと感じました。</p> <p>自分の質問力のなさ</p> <p>企業の組織運営の仕方への興味がわいた、</p> <p>働くことの面白さとか、かっこよさを強く感じた。</p> <p>自分のやりたいことは職業ではなく、やりたいことで見つけたいと思った。</p> <p>自分がワコールの男性社員に美しさを感じる。その理由はおそらく「(自分より弱い)女性のために全力を尽くしているから」だと思う。自分の中の価値観の一つが見つかった</p> <p>本音を引き出す質問の難しさ</p> <p>大学時代ではなく、社会人になってからが勝負だということ</p> <p>先輩を対等に見て巻き込むことが成長につながるのだということ</p> <p>組織愛着は重要だと再認識した。また、伝えるということはやはり難しいことで基本をしっかり意識することが大切だということ</p> <p>いまの自分が活動を通じて勉強していることは、確実に将来に繋がっている気がした。</p> <p>マネジメントの方法職場で発揮されるリーダーシップ</p> <p>社会で働き、上に這い上がるためには、自分で考え、人を巻き込み自分から行動しないと</p> <p>いけなくて決められたレールの上を走ることではないということ。</p> <p>Social Leaderになれるかどうかは、学生時代の基盤で決まると感じた。</p> <p>社会に出ると、制約が増えそれに流されてしまうから。</p> <p>リーダーシップを通じて風土の違いが見えた</p> |
|---|